

第1学年外国語科(英語)学習指導案

指導者(英語領域専攻) ○○○○

(指導担当教員 ○○○○)

1. 日時 平成○○年○月○日(○曜) 第○校時(○○:○○~○○:○○)
2. 学年・組 第○学年○組 計○名
3. 場所 ○学年○組 教室
4. 単元名 New Horizon English Course 1, Unit 6 「南半球からのメール」(pp. 50-53)(東京書籍)
5. 単元の目標

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

- ・自分の友達や家族について、すすんで英語で紹介したり尋ねたりしようとする。
- ・オーストラリアについて興味をもち、調べようとする。

(外国語表現の能力)

- ・自分の友達や家族について、適切な表現を使って英文が書ける。
- ・自分の友達や家族について、適切な表現を用いて発表できる。

(外国語理解の能力)

- ・動詞の三人称単数現在形を用いた文を聞いて内容が分かる。
- ・動詞の三人称単数現在形を用いた文を読んで内容が分かる。

(言語や文化についての知識・理解)

- ・三人称単数現在形の肯定文・否定文・疑問文の使い方を理解している。
- ・新出語句の意味やつづりが理解できる。
- ・教科書本文の内容について理解している。
- ・オーストラリアについての簡単な知識がある(地理, 言語, 動物など)。

6. 単元について

①教材観

本単元では、一般動詞の三人称単数現在形の平叙文、疑問文、否定文の形・意味用法についての学習がある。この一般動詞の三人称単数現在形は日本語にはない英語特有の語法であり、日本人にとっては難解な単元の一つといえる。

本単元では、オーストラリアを題材とし、オーストラリアに住むマークの姉ベッキーについて述べられている。Part 1では、マークがアルバムを見ながらオーストラリアに住む姉を由美に紹介する。なお、ここで3人称単数現在形の肯定文が扱われている。Part 2では、マークに届いたベッキーからの写真付きのメールをみながら由美とマークが対話する場面ある。3人称単数現在形の疑問文が扱われている。Part 3では、マークの姉ベッキーの夫が日本語を教えていること、ベッキーと夫は家でも英語ではなく日本語で会話しているという内容である。ここでは、3人称単数現在形の否定文が扱われる。

また、一般的な日本とオーストラリアの比較について、例えば季節が逆であるなどの内容が扱われる。

②生徒観

このクラスの生徒はややおとなしい印象である。時にまた英語を使うことには大変興味があり、

英語でのコミュニケーションをとりたいと思っている生徒も多い。しかし、英語での発話にとまどいを見せることもある。授業に関しては、多くの生徒は英語が好きで、学習態度は熱心である。事前に英語アンケートを行った結果、“英語が好きである”と回答したのがクラスの7割，“英語を活用したい”という回答がクラスの8割，“英語が必要である”と回答したのがクラスの9割であった。また、授業でのpattern practice やpair work には熱心に取り組み、ゲームなどにも意欲的に取り組む。ゲームを通して友達と協力しながら英語を楽しむことのできる生徒が多い。

生徒は、これまでは一人称、二人称については学習しているが、三人称を学習していないため、英語での表現をする際に、かなり限った範囲でしか行えなかった。そこで、三人称を学習することにより、生徒は英語で表現する幅が広がり、英語を楽しく感じるようになると思う。しかし、一般動詞の三人称単数形については、以前の文部科学省が実施した「学習定着度状況調査報告書」においても、正答率が低いことが示されているように、生徒にとって困難であるといえる。

③指導観

本単元で扱う三人称単数現在形は日本語話者の生徒達にとってはイメージとしての概念がとらえにくい部分があるため、文法理論で説明するのは最小限にして、実際にピクチャーカードやフラッシュカードなどでたくさんの英語にふれさせて、人称の区別とそれに伴う動詞の変形についてテンポよく反復練習をすることにより定着を図りたい。また、三人称を使う最も身近な対象として、自分の友達を紹介するというスピーチ発表をさせることにより、実際に三人称単数現在形を多用する場面を作ろうと考える。またゲーム等を活用しながら、彼らのコミュニケーション能力を引き出すために、毎時間のRoutineとしているドリルワーク等による基礎・基本の定着と平行させて、実際に英語を使う場面設定の工夫をしたい。

また具体的には、初期の段階においてpattern practice 等を通して人称の区別が付けられるように指導したい。そして、疑問文や否定文についても、多くの生徒は“do”と“does”の使い分けにおいて混乱しがちであるため、動詞を適切な形に変えることに慣れさせ、使えるように指導したい。

7. 指導計画（全6時間）

- 第一次 復習, Part 1導入, 動詞の三単現の導入 . . . 1時間
- 第二次 復習, ゲーム(定着), スピーチの準備① . . . 1時間(本時 1/1)
- 第三次 スピーチの準備②, 復習, Part 2導入 . . . 1時間
- 第四次 “My friend”スピーチ発表①, 復習, Part 3導入 . . . 1時間
- 第五次 “My friend”スピーチ発表②, 復習, ゲームの準備 . . . 1時間
- 第六次 “My friend”スピーチ発表③, 復習, ゲームの発表 . . . 1時間

時	指導計画	4技能				評価場面および手段
		L	S	R	W	
1	復習, Part 1導入 動詞の三単現の導入	○		○		Pair work / 観察(I)
2 ★	復習, ゲーム(定着) スピーチの準備①	○	○		○	Game / 観察(I)

3	スピーチの準備② 復習, Part 2導入	○	○	○	Worksheet (I, IV) Pair work / 観察(I)
4	"My friend"スピーチ発表① 復習, Part 3導入	○	○	○	Speech(II) Pair work / 観察(I)
5	"My friend"スピーチ発表② 復習, ゲームの準備		○	○	Speech(II) Worksheet(I, IV)
6	"My friend"スピーチ発表③ 復習, ゲームの発表	○	○		Speech(II) Game / 観察(I)

★=本時

8. 本時の学習

①本時の目標

- ・すすんで英語を話そうとする。(関心・意欲・態度)
- ・主語と動詞の一致と、動詞の変形について理解する。(知識・理解)

②本時について

本時は前回学習した三人称単数現在形を用いたアクティビティをゲーム形式で行う。ゲームは「坊主めくり」をベースにしたものであり、生徒達も容易にルールを理解することができるであろう。今回はグループ活動の形態をとることにより、グループのメンバー同士で教えあい、学び合う経験をさせることにより楽しみながら定着をはかろうとする。また、ゲームがスムーズに進行するように、ゲームの前のpattern practice では、ていねいに生徒がつまづきそうなポイントをしっかりと押さえておきたい。

③本時の展開

○主なる指示・発問 ■評価

区分	学習活動と内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点・支援・評価 (教師の活動)	準備物, 資料等
導入 5分 Greetings	1. 英語で挨拶を交わす。	・英語で挨拶をする。	
Warm up	・教師からの簡単な英語の問いに答える。 ・ペアになり、基本文の練習をする。 ・基本文の中から読まれる文を英語で書く。 答え合わせをして提出する。	○教師から簡単な問いを与える。 ○ペアになり基本文の練習をさせる。 ○基本文の中から読む文を英語で書き取らせ、答え合わせをする(提出させる)。 ○適宜ヒントを与える。 ■積極的に答えているか。	ワークシート

		<p>■積極的に英語を話そうとしているか。</p> <p>■正確に英文を書こうとしているか。</p>	
<p>展開 1</p> <p>5分</p> <p>Review</p>	<p>Part 1の復習 (三人称単数現在形)</p> <p>2. Part 1の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Choral reading / Read aloud ・ Beckyについて発表をする。 	<p>○ベッキーについて発表をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベッキーについて表現できそうな動詞を提示。 	
<p>展開 2</p> <p>5分</p> <p>Pattern practice</p>	<p>三人称単数現在形の英文作成練習 1 (ピクチャーカードと「主語」カードから)</p> <p>3. ピクチャーカードと「主語」カードを見ながら絵にあった英文を言う。</p>	<p>○ピクチャーカードと「主語」カードを見ながら絵にあった英文を回答させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体→個人の活動 ■主語と動詞の時制に気をつけて英語が言えるか。 	<p>ピクチャーカード</p> <p>主語カード (動詞カード)</p>
<p>展開 3</p> <p>30分</p> <p>展開Game</p>	<p>三人称単数現在形の英文作成練習 2 (カルタカードと「主語」カードから)</p> <p>4. 「坊主めくりゲーム」の学習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲームの進め方の説明を聞く。 <p>[ルール]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1). グループごとにカルタのセットを受け取る。 2). カードを混ぜて、グループの中央に置く。 3). 先生が主語カードをみせたら、カードの山から1枚取って英文を作る。 4). 正しい英文が言えたら、そのカードをもらう。もし「坊主」のカードが出たら、もっている全てのカードを出す。「姫」のカードが出たら、出されたカードの全部がもらえる。 5). 全部のカードを取り終えたら、手札を数えて、一番たくさん持っている人が勝ちとなる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとにゲームを始める。 ・ ゲーム終了後、取ったカードの数を英語で答える。 	<p>○ゲームの説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いくつか例を提示する。 <p>○正しい英語が使えているか机間指導しながら確認する。</p> <p>○ゲームのまとめとして、取った</p>	<p>カルタセット (6)</p> <p>主語カード</p>

		カードの枚数と勝者を英語で確認する。 ■ ルールに従って積極的に英語を使いながらゲームに参加できたか。 ■ 主語と動詞の一致と動詞の変形について理解したか。	
まとめ 5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 三人称単数現在形の英文作成練習まとめ (友達の紹介文作成) </div>		
	5. ワークシートに友達について英語で紹介文を書く。 6. 次の課題を知る (スピーチ準備をする)。	○ワークシートに友達について英語で紹介文を書く。 ・ 随時ヒントを与える。 ○次時について知らせる。	ワークシート

④評価の観点と方法

- ・英語を積極的に話せたか。
- ・主語と動詞の一致と動詞の変形について理解したか。

評価の観点および方法	A	B
英語を積極的に話せたか。 (観察) [観点 I]	毎回の授業の全ての言語活動において、意欲的に英語を話す。	意欲的に英語を話す。
主語と動詞の一致と動詞の変形について理解したか。 (観察) [観点 IV]	ゲームや活動のなかで、主語に応じて、動詞の変形に気をつけながら正しく英語を話す。 【形成的評価】	

⑤板書計画

Today's goal

Speak English!

PC	PC	PC
PC	PC	PC
PC	PC	PC

⑥準備物

教師：

- | | |
|--------------|------------------------------|
| a) ピクチャーカード | b) フラッシュカード (Subject / Verb) |
| c) カルタ 6 セット | d) ワークシート |